

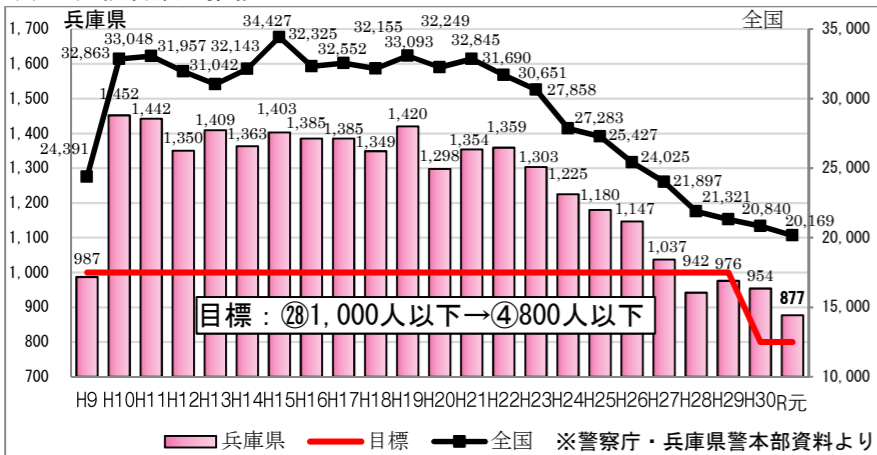
令和元年の自殺者の状況（※警察統計から）

R 元年の自殺者数：877人（H30：954人、◎比 △77人（8.1%減））
 平成6年（823人）以来、25年ぶりの低水準であるが、依然、交通事故死者数（◎138人）の6倍以上の自殺があることは社会的に重要な課題

→「5年後に800人以下」をめざし、さらなる取組強化

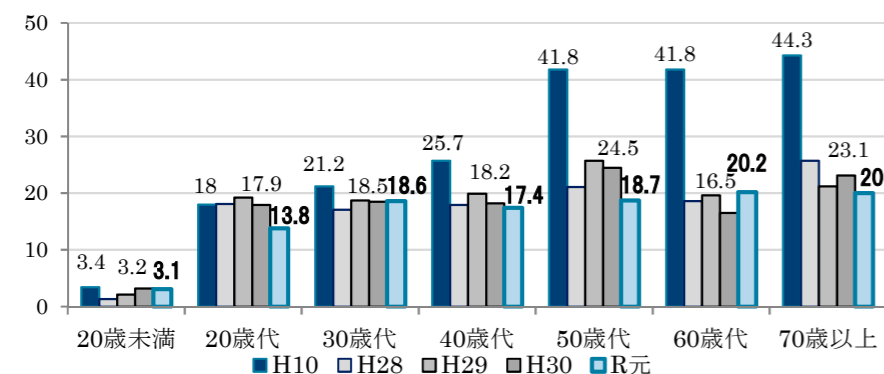
〔 H31.2~5 308人 R2.2~5 246人（62人減、20.1%減） 〕
 ※新型コロナウイルス感染症発生後の状況

(1) 自殺者数の推移



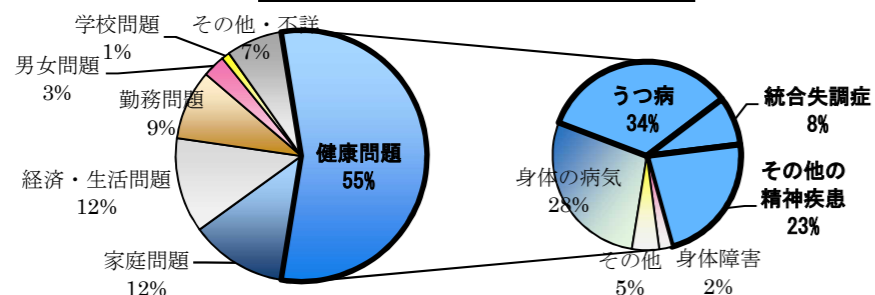
(2) 年齢階層別の自殺死亡率（※人口10万対）

他の年齢層では減少傾向の中、60歳代が微増。



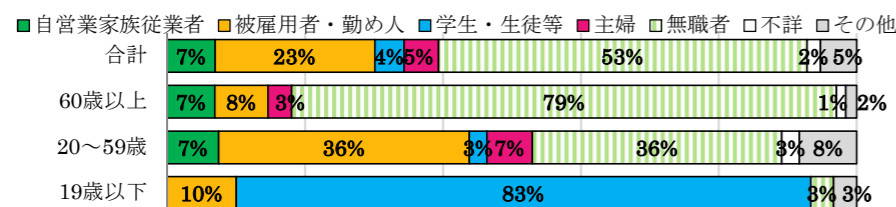
(3) 自殺の理由（H30と同傾向）

健康問題がほぼ半数を占め、家庭問題、経済・生活問題、勤務問題の順健康問題のうち、うつ病等の精神疾患が全体の約6.5割



(4) 職業別の自殺者の割合

20～59歳の働き盛り層世代において、無職者が約4割



自殺対策の総合的な推進

「兵庫県自殺対策計画」(H29.12推進方策改定)

【基本認識】

- 自殺はその多くが心理的に追い込まれた末の死であり、その多くを防ぐことのできる社会的な問題
- 自殺対策は、生きることの包括的な支援として実施
- 自殺対策は、保健、医療、福祉、教育、労働その他の関連施策と有機的な連携を図り、総合的に実施

【目標】

- 一人ひとりがかけがえのない個人として尊重される「自殺のない社会」の実現をめざす。
- 当面の目標：「5年後に（令和4年度）県内年間自殺死亡者数800人以下」

【取組の基本方針】

- 関連施策との有機的な連携により自殺のリスク要因を抱える人への支援強化
- 地域レベルの実践的取組への支援を充実
- ライフステージ等に応じたきめ細やかな対策を推進

「兵庫県自殺対策計画」に基づく主な取組（R2年度）

1 相談体制の充実強化

(1) 24時間電話相談体制の強化

- 「兵庫県のちと心のサポートダイヤル」相談体制の強化
 開設時間：平日 18:00～翌 8:30、土日祝日 24時間
 相談体制：2名（18:00～22:00 5名体制）◎26,609件
- 「神戸いのちの電話」「はりまいのちの電話」への支援
 相談員の養成、資質向上、新規確保のための研修を支援

(2) 様々な自殺のリスク要因を抱える人の相談体制の充実

- 【**拡・新**】経済問題等に係る心の悩み相談（弁護士会委託）
 （拡）休日夜間電話法律相談（日曜日 17:00～21:00）、（新）平日昼間電話法律相談（月～金曜日 13:00～16:00）
- 【**新**】ミドル世代・シニア世代就労相談窓口の設置
- 児童虐待、DV、犯罪・性暴力被害相談、心身の健康問題支援相談

(3) 【**拡**】「こころの健康相談」の充実（精神保健福祉センター）

タブレットを用いたWebによる遠隔面接相談、医療従事者等へのケア

(4) ICTを活用した相談体制の充実

- LINE公式アカウントを活用した相談窓口の情報発信、LINE電話相談
 LINE公式アカウント友達登録数：◎3,076人 電話相談件数：◎911件
- 検索連動型広告による相談窓口の案内（◎**広告表示 374,344回**）
 広告クリック（県HP自殺防止相談窓口一覧）22,089回（窓口クリック率5.8%）

(5) 子ども・若者の相談体制の充実

- ひょうごっ子悩み相談（ひまわり・子ども24時間ホットライン）
- ひょうごっ子SNS悩み相談（民間業者委託、17:00～21:00対応）
- ひょうごユースケアネットほっとらいん相談（ひきこもり相談）

(6) いのちを支える相談支援ネットワークの構築

- 地域で、多様な相談窓口が連携支援できる体制づくりへの支援

2 地域における支援体制の充実

(1) 【**拡**】自殺予防に対する理解の促進

自殺予防週間(9月)自殺対策強化月間(3月)を中心に啓発キャンペーン等実施
 ラジオ啓発(1社→2社)、相談窓口一覧パン(お守りカード)の増刷

(2) 地域で「気づき・つながり・見守り」ができる人材の養成

ひょうごのちとこころのサポーター養成事業（推進リーダー養成数～◎367人→◎340人）

(3) いのちを支える様々な専門的人材の養成

いのちとこころを支える相談職員養成研修の実施（養成数～◎180人→◎250人）

作成年月日	令和2年6月22日
作成部局課室名	健康福祉部障害福祉局いのち対策室
(自殺対策推進本部会議)	

3 市町・団体等の地域ごとの取組への支援

(1) 兵庫県のち対策センターによる市町支援の充実

市町自殺対策計画事業の取組支援（◎41市町策定済）

- （取組例）・心の健康づくり講演会（宝塚市、加西市、太子町、宍粟市、養父市等）
 ・ゲートキーパー研修の実施（西宮市、多可町、丹波市、佐用町、洲本市等）
 ・悩みに応じた相談窓口の開設（猪名川町、三木市、佐用町等）
 ・若年者層に対するいのちの授業（川西市、加古川市、神河町等）
 ・インターネットによるメンタルチェック「こころの体温計」（芦屋市、高砂市等）
 ・自殺未遂者支援事業（姫路市、明石市、尼崎市等）

地域自殺対策強化交付金による事業実施（◎全市町）

(2) 専門的技術向上のための研修

自殺対策企画研修、自殺未遂者ケア研修等

(3) 地域での相談支援ネットワーク構築への支援

ポータルサイト活用した地域支援者のための多職種合同研修会等実施

4 自殺のハイリスク要因を抱える人への支援の強化

(1) 精神疾患に関わる支援体制の充実

- ・かかりつけ医と精神科医について、地域単位での連携推進
 - ・ひょうごこころ依存症対策センターによる支援（◎電話相談336件）
- ※内容：アルコール76件、薬物43件、ギャンブル111件、ゲーム35件、その他71件
 ※紹介先：医療機関183、県・市健康福祉事務所112、自助グループ124

(2) 自殺未遂者支援体制の充実

- ・精神科救急医療体制の充実
- 自殺未遂者ケア研修の実施（延べ受講者～◎407人→◎550人）
- ・救急医療施設での医療体制の充実

(3) 精神保健医療福祉サービスの連携体制の充実

- ・地域自殺対策連絡協議会
- ・自殺未遂者・既遂者事例検討会の実施

5～7 各年齢階層別の自殺対策の推進

5 子ども・若者

- 【**新**】学校で取り組む自殺予防支援事業（◎8校）
- 【**拡**】兵庫ひきこもり相談支援センターの運営
- 青少年のインターネット依存等防止対策の推進

6 中高年層

- 企業等のメンタルヘルス改善支援事業（実施数◎135社→◎140社）
- ワーク・ライフ・バランスの啓発推進
- 【**新**】ひきこもり総合対策支援事業（電話相談件数R元.12月～R2.5月130件）

7 高齢者層

- 介護支援専門員自殺予防研修の実施（延べ受講者～◎1,092人→◎1,300人）
- 【**新**】ゲートキーパー手帳の改訂
- 認知症・高齢者相談

8 自死遺族等遺された人への支援の充実

- 自死遺族支援団体等への助成（◎3団体補助→◎4団体補助）
- グリーフケア講座の実施

新型コロナウイルス感染症に対応した主な自殺対策の取り組み

1 経済問題等に係るこころの悩み相談（委託先 兵庫県弁護士会）

弁護士による新型コロナウイルス感染症に伴う雇い止め、解雇、倒産等の経済問題相談窓口の拡充。心のケアが必要な相談者に対しては、精神保健福祉士が併せて相談に対応

【拡】休日夜間電話法律相談（日曜日 17:00～21:00）

【新】平日昼間電話法律相談（月～金曜日 13:00～16:00）

	令和2年5月末まで	令和2年6月～
休日夜間	弁護士2名・精神保健福祉士2名 (月1回：第4日曜日)	弁護士2名・精神保健福祉士2名 (毎週日曜日)
平日昼間	-	弁護士2名 (月～金曜日)

相談内容：○コロナ感染対策で有給取得後、嫌がらせを受けたため心が病んだ。
○コロナ鬱で出勤できなくなった。
○コロナで解雇され、生活ができない等

2 こころの健康相談の充実（県精神保健福祉センター）

- ・タブレットを用いた Web による遠隔面接相談を宿泊療養施設等で開始
- ・医療従事者等を対象としたこころの健康相談窓口の設置（令和2年5月～）
火～土曜日 9:00～17:00 電話番号：078-252-4980

3 自殺予防週間・月間を中心とした啓発キャンペーンの充実・強化

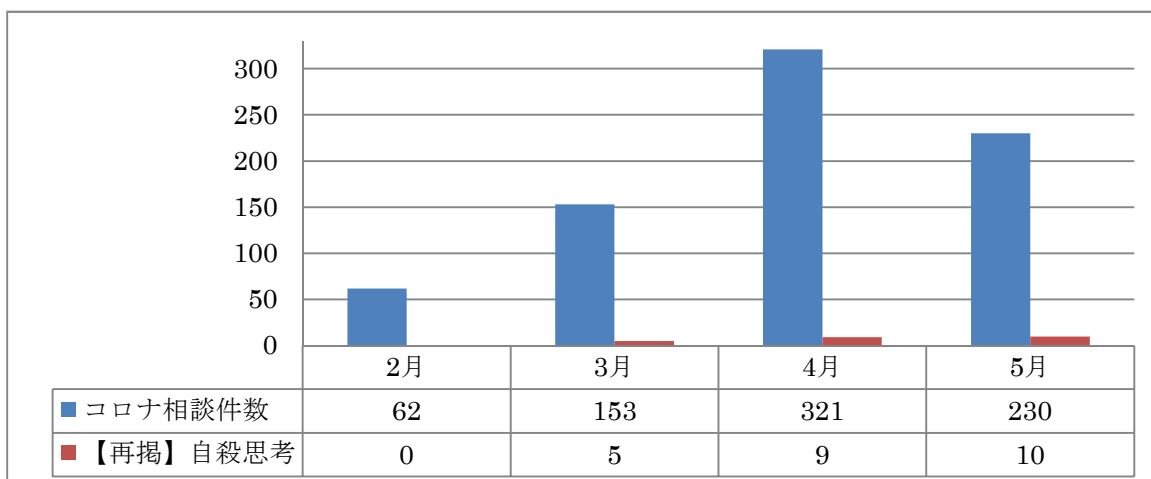
- ・街頭啓発や関係団体への相談窓口掲載チラシ（お守りカード増刷）配布
- ・ラジオによる啓発（㊤1社→㊤2社）等

[参考]

兵庫県のいのちと心のサポートダイヤルのコロナ関連相談件数

相談機関の少ない平日夜間(18:00～翌朝 8:30)と土日祝日(24時間)に電話相談を開設、自殺を考える人やその家族から相談を受けており、2月以降、新型コロナに関連する相談が増加

【兵庫県のいのちと心のサポートダイヤルコロナ関連相談件数】



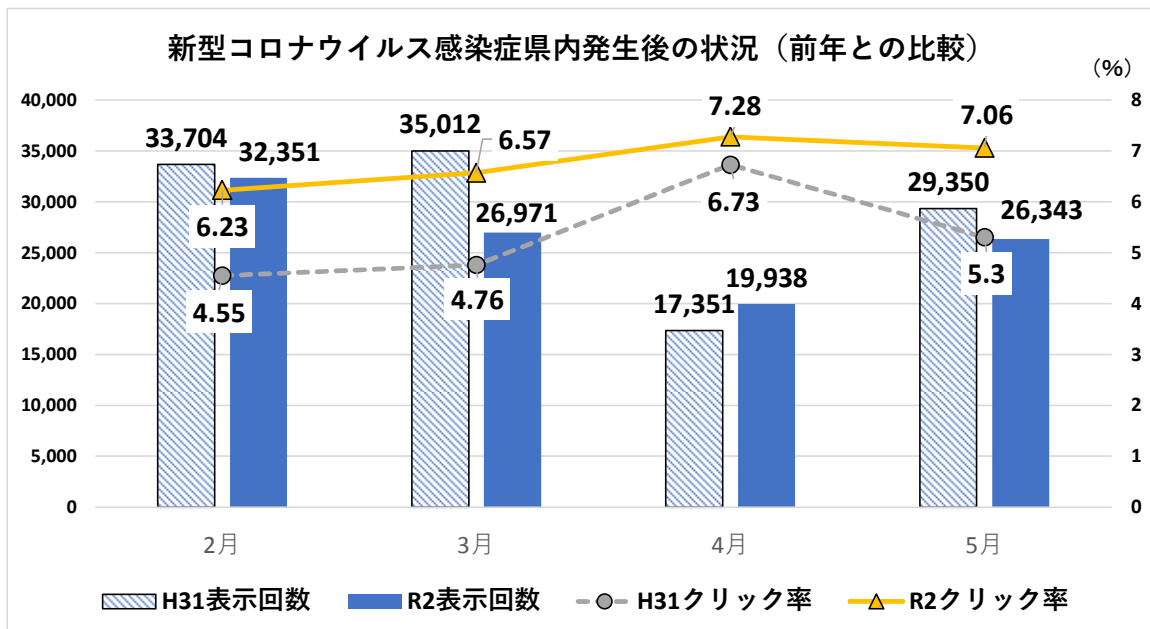
インターネットにおける自殺関連用語の検索状況について

インターネット上で、「死にたい」「死ぬ方法」等の自殺関連用語を検索した人に県のホームページ（自殺防止相談窓口一覧等）への入口を表示（下表：表示回数）し、自殺相談窓口に誘導し相談につなげる「ICTを活用した自殺に関する相談窓口案内」を実施している。

表示回数は「自殺関連用語を検索した回数」、クリック率は「自殺関連用語を検索した人に相談窓口の情報提供を行った割合」を意味することから、今後も数値の変化に着目し、自殺者数の推移等と合わせて分析を行い、取り組みを充実させていく。

○広告表示実績

年度	H30	R元	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5
表示回数（回）	289,617	374,344	32,325	26,971	19,938	26,343
クリック率（%）※	5.77	5.84	6.23	6.57	7.28	7.06



(昨年との比較)

- 昨年と比較して、クリック率は全ての月で高い
- 「自殺関連用語を検索した回数」は、4月を除いて減っている

※クリック率…県のホームページ（自殺防止相談窓口一覧等）が表示された回数（表示回数）のうち、実際に内容を見るためクリックした割合